

北の大地から平和のメッセージを

どうする？ 日米安保への立場を超えて 普天間基地問題

世界一の米軍へのサービス、毎年6,500億円の駐留経費、米軍普天間基地問題、トモダチ作戦の本質…
沖縄に米軍基地がある限り、真の平和は訪れない。

安保反対派・賛成派—相容れない2人。実は“米軍普天間基地”撤去では意見は同じ。
立場の違いを超えて語る平和へのメッセージ。

基地問題の
解決は
なくして
前進は
ない



◎前宜野湾市長

伊波洋一

柳澤協二

◎元官房副長官補 (安全保障・危機管理担当)

海兵隊は
抑止力
たりえるか？



【伊波洋一】

宜野湾市長として普天間基地問題解決のため、3度の訪米要請行動、国会の安全保障委員会や外務委員会に招かれ訴える。県内市町村で初めて中学生までの入院費無料化を実現する。2010年の沖縄県知事選挙に革新統一候補として出馬、善戦する。著書「普天間基地はあなたの隣にある。だから一緒になくしたい」など。



コーディネーター
松竹伸幸

一橋大学社会学部卒業。現在、かがわ出版東京オフィス所長、日本平和学会会員、日本ジャーナリスト会議出版部会世話人。

【柳澤協二】

東京大学法学部卒。防衛庁に入庁し、同運用局長、防衛研究所所長などを経て、2004年から2009年まで内閣官房副長官補(安全保障担当)。現在、防衛研究所特別客員研究員。編書に「抑止力を問う元政府高官と防衛スペシャリスト達の対話」、「脱・日米同盟」(かがわ出版社)

とき

2011年11月23日 [水] 開会：13:00～16:00
[祝] (開場：12:30)

ところ

道新ホール 札幌市中央区大通西3丁目
道新ビル大通館 8F

参加費
500円
(資料代)

呼びかけ人／内山 博(株式会社旅システム代表取締役)、小野有五(北海道大学名誉教授)、
影山あさ子(ジャーナリスト)、加藤多一(童話作家)、川島亮平(医師)、
河合博司(酪農学園大学教授)、黒川一郎(札幌医科大学名誉教授)、
佐々木憲夫(歯科医師)、高崎 暢(弁護士)、猫塚義夫(医師)、林 恒子(女性史研究家)、
福地保馬(北海道大学名誉教授)、安井晃一(元原爆訴訟原告団長)

【連絡先】

たかさぎ法律事務所
〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目
第3有楽・寺島ビル7階
TEL(011)261-7738 FAX(011)261-7718